

GSV-C グループスーパービジョンC

講師	佐藤 俊一 先生 NPO 法人スピリチュアルケア研究会ちば理事長・日本ソーシャルワーク学会理事 ※3		
内容	グループスーパービジョン		
受講要件	東京都医療ソーシャルワーカー協会正会員もしくは準会員 成果編集提出 (P1 参照)		
対象	実務経験 5 年以上		
受講料	無料 (東京都受託事業のため)		
会場	としま区民センター (池袋駅東口徒歩 7 分)		
日時	① 2026 6/17 ② 7/15 ③ 8/19 ④ 9/16 ⑤ 10/21	⑥ 11/18 ⑦ 12/16 ⑧ 2027 1/20 ⑨ 2/17 ⑩ 3/17	第 3 水曜日 19:00 ~ 21:00 全回会場集合・対面形式
認定ポイント	日本医療ソーシャルワーカー協会認定医療ソーシャルワーカー認定講座 26P (欠席・遅刻・早退等からポイント発行に至らないことがあります)		
定員	9 名		
参考文献	1. 「ケアを生み出す力～傾聴から対話の関係へ～」 佐藤俊一 2011 年 川島書店 2. 「スピリチュアリティを目覚めさせる - 均質化する社会を現象学から問う」 佐藤俊一 2020 年 川島書店		
事前課題	※参加を希望される方は参考文献 1. を準備され、事前に第 1 章「ケアを生み出す基礎とは」 を読んで一回目の研修へ参加してください。		
申込期間	2026/5/1 (金) ~ 6/9 (火) 先着順、未受講者優先		

講師より本講座のご案内

ソーシャルワーカーとして経験を積むことで、あなたは業務の幅が広がるキャリアに入っています。対クライアント支援だけでなく、後輩の育成、実習指導、地域のケア会議等に携わることもあるでしょう。それぞれの実践には、新たな学びが必要です。そのための準備ができていないかと不安を抱えているかもしれません。

ここで立ち止って確認してみましょう。ともに取り組む相手の呼び名は、クライアント、職員、実習生、他職種と異なりますが、どの実践においても共通しているのは、「対人へのかかわり」であるということです。したがって、これまでのあなたの人へのかかわりが基本となり、また問われることになります。全く別のことをするのではなく、これまでの実践とのつながりが意味をもつわけです。それを支えてくれるのは、対象領域別の専門知識だけでなく、ソーシャルワーカーとしての基礎となることの確認作業です。いわゆる入門編としての基礎ではなく、原点(radical)からの問いに答え続けることが求められます。終わりのない取り組みになるのですが、私は永遠に続く「基礎工事」と呼んでいます。総合力を身につけるには、とても効果的な学びになります。

具体的なことを示すと、基礎となることの一つは相手を理解することです。相手の理解に、すでに支援が表れています。例えば、よく言われる困難事例を取り上げてみましょう。多くの人が着目するのは、クライアント自身や取り巻く状況の特殊性です。他方で、忘れられているのは、あなたがどのような態度でかかわっているかということです。単に相手の問題ではなく、あなたとの関係において起こっていることがわかります。介入は、それ自体が相手に影響を与えているのです。支援者が異なれば、ちがう理解が生まれ、また展開も変わってくるでしょう。相手を理解するには、自分のかかわりを知ることが不可欠なことになります。

研修では、最初の数回で文献を使って、実践力を高めるために必要な基礎の学びを確認します。続いて、個々が事例を提出し、他のメンバーと一緒に事例に基づいたスーパービジョンを行います。問題への対応だけでなく、自分の人へのかかわりにおける課題を発見できるようになることがねらいです。人にかかわる力を高めるスーパービジョンに、奮ってご参加ください。

※ 3: 約 30 年にわたって、大学においてソーシャルワーカーを主として、対人援助職の人に関わる力を身につける教育と研究に従事。現在は退職して感性を磨き、実践力を向上させるための研修として、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、セラピスト、看護職などの対人支援多職種でのスーパービジョン、グループ臨床を行っている。現場の人たちの宝物である体験からの学びを尊重し、実践と理論の循環を大切にしている。